



◆発行◆ 鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆ 川畑初夫
◆印刷◆ (株)新生社 鹿児島市七ツ島

安全保障政策

鹿児島県隊友会会員の諸先輩方、お元気でしょうか。航空自衛隊出身、「空飛ぶ参議院議員」と宇都隆史です。安倍総理大臣の下、「決められない政治」から「決断する政治」への大転換を図

り、文字通り「日本を取り戻す」ための各種施策が一斉に進進しております。通常国会も現在のところ順調で、本予算が年度内に可決するのは実に16年ぶりのことだそうです。

さて、昨年末に新聞紙面でも連日取り上げられた特別秘密保護法ですが「秘密」という言葉の響きが負のイメージを増幅させ、また左翼的マスコミを中心に、あることな

な成果は、国家安全保障戦略（NSS）の制定でした。その意義は以下の三点に尽きると考えます第一に、戦後日本の政治において、初めて「国益」を「①我が国自身の主権・独立の維持と国民の

生命・身体・財産の確保②経済発展を通じた我が国と国民の更なる繁栄を実現、③自由、民主主義基本的人権、法の支配といった普遍的価値やルールによる国際秩序の維持」と定義付けしたこと。第二に、安全保障の観点から防衛政策、外交政策経済政策、科学技術政策等の間に一つの共通の柱ができたこと。第三に、国防を支える社会的基盤として、初めて愛国心教育に言及したことです。

さて、安倍政権の乗り越えるべき今年の政治の壁は大きく4つあります第一は、4月に導入される消費税増税による景気落ち込みの回避。第二に

国益を損ねない形でTPPの締結。第三に、安全を確保した上での原発の再稼働。そして第四に集団的自衛権の解釈見直しです。何れも避けては通れない政治課題ですが中でも集団的自衛権の問題は、我が国の安全保障の根幹にもかかわる長年の懸案事項でもあり、その見直しに関しては、野党からの激しい抵抗が繰り返されることが十分に予想できます。しかし憲法改正を何としてでも成し遂げねばならない使命を帯びた自民党として謙虚に丁寧にかつ粘り強く、その実現に向け全力を傾注し、我が国の安全保障上の積年のトゲを抜かねばと固く心に誓っております。

先輩方におかれましては、引き続きご指導ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

気張ります！



笠之原台地に飛行場を設けて日本の南の空を護らねばならないと説いた。それから5年後、県議会議員となった永田良吉は機会あるごとに飛行場設置の必要性を強調した。昭和3年に永田良吉は衆議院議員に初当選し、国会に「笠之原に国立飛行場を設置」する建議案を提出し、以後、議会の度に飛行場に関する提案や質問を繰返し、議会では請願代議士とか飛行機代議士のネームが付けられて有名になった。そして昭和11年4月1日に「鹿屋海軍航空隊」が誕生した。永田良吉が飛行場設置の必要性を説いてから15年の歳月が過ぎて

いた。このようにして設置された鹿屋基地は、大東亜戦争終結までの間、幾多の作戦に係る重要な基地としての役割を担った。昭和12年7月7日北支事変の勃発に伴い、鹿屋航空隊の96式陸上攻撃機18機が台湾に進軍、中支方面作戦に参加し、世界を「アツ」と言わせた渡洋爆撃を敢行した。昭和14年5月11日、ノモンハン事件発生で漢口に進出し、重慶・成都・西安・蘭州等の中国内地部の奥地を猛爆した。

海軍の航空部隊は、母艦航空部隊の第1航空艦隊と基地航空部隊の第1

1航空艦隊に大別されていた。鹿屋航空隊は、第11航空艦隊に所属していた。昭和16年2月、山本五十六連合艦隊司令長官は、第11航空艦隊参謀長の大西滝次郎少将に米國太平洋艦隊主力部隊に対する先制攻撃のための作戦計画の立案を命じた。大西滝次郎参謀長は、志布志湾に集結中の艦隊の空母に乗艦していた航空参謀の源田実中佐を鹿屋基地に呼び、具体的な作戦について話し合

った。これがいわゆる「鹿屋会談」である。この会談が元になり昭和16年12月8日の真珠湾攻撃へとつながっていく。そして、終戦までの間に

鹿屋基地から908名の特攻隊員が飛び立ち、還らぬ人となった。昭和20年9月3日、連合国進駐軍の先遣隊が鹿屋飛行場に第一步を印した日である。昭和23年3月まで米第5空軍が駐留、空軍将兵約千人、航空機約二百機、海兵隊千人、工兵隊約二千三百人、衛生隊約千人であった。昭和23年4月から昭和28年11月まで鹿屋飛行場は大蔵省財務局の管理となった。

昭和25年に朝鮮戦争が勃発し、8月警察予備隊が設置され、鹿屋に約千人が移駐し、12月7日警察予備隊鹿屋駐屯地部隊が開隊した。昭和27年8月、警察予備隊と海上警備隊で保安庁が設置され、10月保安隊第12連隊鹿屋駐屯地部隊千八百人が駐屯した。昭和28年12月1日、警備隊鹿屋航空隊が開隊。昭和29年7月、防衛庁

が設置され、警備隊が海上自衛隊に改称。ここに鹿屋航空隊は、海上自衛隊航空部隊の発祥の地として誕生した。

このような変遷を辿った鹿屋航空基地であるが飛行場設置の立役者・米軍進駐時の鹿屋市長「永田良吉」と草鹿中將のやりとりを紹介して結びとする。

鹿屋航空基地の変遷

昭和11年に旧海軍が鹿屋に飛行場を設置したその背景には、大艦巨砲主義から脱却しつつあった海軍のトレンドもあるが、「永田良吉」という一人の地元の男がいたことが大きく影響している

大正6年、鹿児島で催された飛行大会でミスという飛行士が宙返りや横転などの高等飛行を演じたので、観衆は大変な驚きであった。この大観衆の中に「永田良吉」がいた。彼は、『これは大変なことだ。これからの日本の守りは空からだ』

と思った。彼は早速、所沢や大刀洗の飛行場を視察し、鹿児島県出身の陸海軍の元帥や大将及び政治家達を訪ねて、鹿屋の

1航空艦隊に大別されていた。鹿屋航空隊は、第11航空艦隊に所属していた。昭和16年2月、山本五十六連合艦隊司令長官は、第11航空艦隊参謀長の大西滝次郎少将に米國太平洋艦隊主力部隊に対する先制攻撃のための作戦計画の立案を命じた。大西滝次郎参謀長は、志布志湾に集結中の艦隊の空母に乗艦していた航空参謀の源田実中佐を鹿屋基地に呼び、具体的な作戦について話し合

った。これがいわゆる「鹿屋会談」である。この会談が元になり昭和16年12月8日の真珠湾攻撃へとつながっていく。そして、終戦までの間に

鹿屋基地から908名の特攻隊員が飛び立ち、還らぬ人となった。昭和20年9月3日、連合国進駐軍の先遣隊が鹿屋飛行場に第一步を印した日である。昭和23年3月まで米第5空軍が駐留、空軍将兵約千人、航空機約二百機、海兵隊千人、工兵隊約二千三百人、衛生隊約千人であった。昭和23年4月から昭和28年11月まで鹿屋飛行場は大蔵省財務局の管理となった。

昭和25年に朝鮮戦争が勃発し、8月警察予備隊が設置され、鹿屋に約千人が移駐し、12月7日警察予備隊鹿屋駐屯地部隊が開隊した。昭和27年8月、警察予備隊と海上警備隊で保安庁が設置され、10月保安隊第12連隊鹿屋駐屯地部隊千八百人が駐屯した。昭和28年12月1日、警備隊鹿屋航空隊が開隊。昭和29年7月、防衛庁

が設置され、警備隊が海上自衛隊に改称。ここに鹿屋航空隊は、海上自衛隊航空部隊の発祥の地として誕生した。

このような変遷を辿った鹿屋航空基地であるが飛行場設置の立役者・米軍進駐時の鹿屋市長「永田良吉」と草鹿中將のやりとりを紹介して結びとする。

軍もここに駐留していなかったでしょう。この鹿屋の人々に何と言つて詫びていいやら・・・」。



老市長はそれつきり頭をかかえて黙り込んでしまった。草鹿はハッと胸を突かれた。自分たちの郷土を今まで敵として憎しみ嫌った土足に委ねる悲運にさらされた現地の人々の恐怖と憤激には草鹿も思い至らなかつたのである。「永田さん、貴方の気持ちは良く分かります。この上は、草鹿が死力を尽くして、この地方の人々には迷惑のかからぬよう犠牲は最小限に食い止めます。」と言つて水交社に帰った。草鹿は、このことによつて彼に課せられた新しい使命をひしひしと感じた。』

村山 文彦 記

第三グループ副会長

村山 文彦 記

村山 文彦 記

村山 文彦 記

村山 文彦 記

村山 文彦 記

村山 文彦 記

鹿児島市との災害協定締結

鹿児島地区協議会



協定に署名する会長(左)と市長

隊友会鹿児島地区協議会（会長 村山文彦）は昨年12月26日鹿児島市役所市長室において、鹿児島市（市長 森博幸

氏）との間で、「大規模災害時における隊友会の協力に関する協定書」を締結した。

森市長からは、「桜島大噴火から100年、8・6水害から20年のこの節目に締結することができ感激している。大噴火、水害などの災害はいつ起こるか分からない過去の災害を教訓に色々な団体との協力が必要であり、市にとつて力強い

かぎりである。」との言葉が

あった。

県内の隊友会が自治体と災害協定を結ぶのは、鹿児島県、国分支部に続いて3例目である。本調印式の模様は、12月29日付の南日本新聞に掲載された。

副会長 河野時彦 記

世界的に反響を呼んだ南米アンデス地方に伝わるたつた160文字の「ハチドリ」のひとしずく」という物語のことが、平成7年に某業界誌に掲載されました。▼「あるとき森が火事になり、火に追われた動物たちは我先にと森から逃げ出しました。しかし、ハチドリだけは、必死に森へ飛んで行きました。小さなクチバシで水を運び、火の上

に落とすためです。それを見た動物たちは「そんなことをして、いったい何になるのか」と笑いましたが、ハチドリは「私は、今私にできることだけをしてるだけ」と答えました。」▼物語はこれで全部で、続きを描くのは皆さんだそうです。私たちもボランティア精神を発揮し、自らの意思で隊友会に入会し、仕事



締結後に握手する会長(左)と市長



締結後記念写真に収まる会長(右)・市長

会勢拡大に

この問題については隊友会創設以来から古くて新しい課題であり、隊友紙でも多くの方が提言されてきましたが、未だに問題とされるのは、これと言った効果的な対案がないと云うことかも知れません。此れまでに警察予備隊、保安隊、自衛隊を経て何十万人という方が退官されたと思いま



モニター 岩切 康

岩切 康 前提になる訳です。小・中・高、大学の青少年時代に一度でもボランティア活動に参加した

第二の人

生の経験を通して得たものを恥ずかしながら述べさせて頂きます。



薩摩川内支部長 川原道治

今年も早や弥生3月を迎え、定年退官後11年が過ぎようとしている今「光陰矢の如し」をしみじみと感じながら、郷土部隊たる川内駐屯地と下

平成15年4月、創業50周年を迎えた川北薩唯一の株式上場企業であるコーアツ工業株式会社（プレストレスコンクリート橋梁架設を中心に、個人住宅部門、基礎工

入れつつ、39年余の自衛官勤務を通して培った何物にも変え難い宝物を糧に「求められ、使ってもらえる内が花」と言い聞かせつつの毎日でした

として金融商品取引法で義務付けられた内部統制報告制度の構築にあたり指揮官・教官・幕僚勤務を経て身に着けた「幕僚勤務」に則って取り組み

といたしまして、自衛隊OBが経営している「(株)JMS」という会社が、隊友会員

中、地域の為として自衛隊との架け橋として真に寄与し得るよう悔いなき人生を送ろうと自らに言い聞かせている次第です

川原 道治 記

防衛協力諸団体 賀詞交換会 盛大に開



平成26年1月26日 (日) 城山観光ホテルに

平成26年1月26日 (日) 城山観光ホテルにおいて開催された「平成26年防衛協力諸団体合同賀詞交歓会」に、鹿児島県隊友会から川畑初夫

会長以下28名の隊友会会員が参加し、合同賀詞交歓会を盛り上げた。

次いで、県内所在部隊指揮官を紹介した後、代表して陸上自衛隊国分駐屯地司令「照沼 敏 1等陸佐」から「自衛隊と地域住民との架け橋あるいは自衛隊の代弁者として協力諸団体会員の皆様に期待している。」旨の祝辞、出席の県議会議員・市町村長・鹿児島市議会議員等の紹介、祝電披露の後、乾杯に移り、主催者である防衛協力諸団体長の一人として鹿児島県隊友会「川畑初夫会長」が舞台に登壇し、「昨今の国内外情勢に鑑み、防衛協力諸団体として如何に自衛隊を支援していけばよいか!」を熱く語り、声高らかに乾杯の発声を実施された。

福島「お助け隊」



国分支部 武藤恵助

私は、昨年8月末から11月末までの約3ヶ月間、福島県葛尾村における「福島お助け隊」に参加しておりました。これは、自衛隊OBが経営している「(株)JMS」という会社が、隊友会員

仕事内容は、自衛隊でよくある演習場整備と概ね同じで、森林内は道路から両側20メートル、住宅から20メートルの範囲内で草・藪・立ち木等の枝払い、及び落ち葉・土壌さらい等を実施して、それらの草木や汚染土等を特大の袋に詰め

中、地域のためとして自衛隊との架け橋として真に寄与し得るよう悔いなき人生を送ろうと自らに言い聞かせている次第です

武藤 恵助 記

◆鹿兒島地協 大迫 芳彦

◆国分支部 佐々木 隼人

◆重田 勝也

◆原添 鉄夫

◆鹿屋(海)支部 寺下 育夫

◆西原 豊

◆和田 篤巳

◆謹んで ご冥福を

河野 時彦 記

建国記念の日 式典に参加

センターで
開催されま
した。

隊友会国
分支部(支
部)は、

平成26年建国記
念の日祝賀式典が、
霧島市国分シビック



国旗、隊友会旗等を持ち行進する会員

部長 宮ノ原 拓一 氏は、
例年霧島市で開催される
祝賀行事に毎年大勢の会
員が参加しています。今
年も60数人が参加しま
した。

第12普通科連隊の音
楽部を先頭に国旗、霧島
市旗、隊友会旗及び隊友
会旗を持て威風堂々の
市中行進をし、沿道から

会員紹介

めに貢献でき
たと酒の美味
しさを今でも
覚えていてい

今年も庭先に華麗な梅
が咲いた。毎年、この時
期に咲く梅花はわが家に
春を運んでくれる。今年
も元気で過ごせる喜びを
感じ、仕事の合間に小春
日和の縁側でお茶を飲み
ながら孫の成長を楽しみ
にしているこの頃である

総合警備を退職後、老後
のことを考えて、短期就
業で介護施設及び果樹
試験場に勤務し貴重な体
験をさせて頂いた。

介護施設では、ほとん
どレクリエーション担当
であつたが年を重ねるこ
とに幼児に帰ることを改め
て再確認した。童謡歌を
歌えたと喜び、昔話を
聞かされると話が弾み笑
い声が絶えなかつた。行
く末の自分を見た感じが
する。食事介助・入浴介
助・歩行介助等色々初め
ての体験であつたが楽し
く勤務できた。家族で、
もしもの事が有ればきつ
と役立つと考えている。

また、JA、行政、団
体等の役職を引受け地域
にも貢献されています。
現在、少子高齢化、人口
減少が進んでおり、地域
をもつと活性化しなけれ
ばとの思いで、平成17
年NPO野田郷を設立さ
れ理事長として頑張つて
います。

業務内容は、肥薩おれ
んじ鉄道野田郷駅業務委
託事業をやりながら、地
域の活性化を掲げ、駅構
内外に花壇を作り四季折
々の綺麗な花を咲かせて
います。住民の皆さんに
は、ボランティア活動参
加を呼びかけ、駅周辺の
清掃、美化活動を共に実
施し、綺麗な町作りに感
化を与えています。

NPO野田郷は、これ
らの活動により平成19
年には、県知事から観光

鬼塚氏は昭和33年9
月相浦教育隊へ入隊、施
設科隊員として、小郡、
那覇、北熊本、最後は川
内駐屯地第8施設大隊第
1中隊で勤務され、平成
3年9月退官されました
退官後は故郷の野田町
に帰り、父の田畑・山林
を引き継ぎ農林業を主に
みかんと椎茸栽培に取り
組まれ、最初は苦勞の連
続だつたそうですが、地

域の方々の温か
いご指導や、日
々の努力研鑽に
より一人前の農林業人と
なることが出来ました。

本人の努力研鑽等の結果
平成12年鹿児島県林業
新興大会林業技術競技会
において、県知事から椎
茸生産部門の優秀賞を受
賞されました。

会員紹介

鬼塚氏は昭和33年9
月相浦教育隊へ入隊、施
設科隊員として、小郡、
那覇、北熊本、最後は川
内駐屯地第8施設大隊第
1中隊で勤務され、平成
3年9月退官されました
退官後は故郷の野田町
に帰り、父の田畑・山林
を引き継ぎ農林業を主に
みかんと椎茸栽培に取り
組まれ、最初は苦勞の連
続だつたそうですが、地

域の方々の温か
いご指導や、日
々の努力研鑽に
より一人前の農林業人と
なることが出来ました。

本人の努力研鑽等の結果
平成12年鹿児島県林業
新興大会林業技術競技会
において、県知事から椎
茸生産部門の優秀賞を受
賞されました。

また、JA、行政、団
体等の役職を引受け地域
にも貢献されています。
現在、少子高齢化、人口
減少が進んでおり、地域
をもつと活性化しなけれ
ばとの思いで、平成17
年NPO野田郷を設立さ
れ理事長として頑張つて
います。

業務内容は、肥薩おれ
んじ鉄道野田郷駅業務委
託事業をやりながら、地
域の活性化を掲げ、駅構
内外に花壇を作り四季折
々の綺麗な花を咲かせて
います。住民の皆さんに
は、ボランティア活動参
加を呼びかけ、駅周辺の
清掃、美化活動を共に実
施し、綺麗な町作りに感
化を与えています。

NPO野田郷は、これ
らの活動により平成19
年には、県知事から観光

家族作文

私は、今年受験生にな
ります。鹿屋に住む祖父
母の家に遊びに行くのも
少し行けなくなると思っ
ます。

小学生の頃、長期
休みの度に兄弟3人
で遊びに行き、たく
さんの思い出がしまし
た。串良のプールに行つ
た時も祖父は暑さが厳し
い中、又大変だつたのに
1日中プールで付き合っ
てくれました。プールへ
の行き帰り軽トラを
運転する祖父の背中ほと
てもかっこよかつたです
平和公園で草ソリですべ
る時も笑顔で私達3人を
見守ってくれました。

私達の家族が帰った時
みんなでするパーベキュ
ーは、とても楽しかつた
し美味しいでした。今も
その味が忘れられませ
ん少し成長し、大きくな
つてから祖母や母と一緒
に準備をすることに誇り
を感じ手伝いをしていま
した。その他にも祖母が
作るキュウリの漬物を
たくさん食べたり、庭の
畑にたつている苺を食
べたり祖父が作っている
みかんやブルーベリーや
スイカやメロンを食べ
たりして楽しいことが
たくさんありました。

次は祖父の家に帰る時
は、私の大
学受験の報
告と今まで
の感謝の気
持を伝え
たいです。
それまで元
気で私を待
っていて下
さい。尊敬
ちゃんへ！
「いつもあ
りがとうご
ざいます」

戦没者墓地が

年2回清掃
を実施して
います。

鹿児島地区協議会は、
10月19日、鹿児島戦
没者墓地(旧陸軍墓地)
の清掃を会員20人で実
施した。

ここには、日露戦争か
ら太平洋戦争までの戦没
者7万余柱の御霊を慰霊
館を見学し、鹿児島歩

兵第45連隊
の写真や南京
事件の真相を
記した研究書
等の展示を見
て歴史を知る
上での参考に
して、解散と
なつた。

後藤光一
記

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

家族作文 隊友さつま

私は、父の勤務地(空
自当別分屯基地)の関係
で札幌地区病院で生まれ
三沢市での4年間を経て
から飛行教導隊への転勤
を機に母の郷里である鹿

屋市に転入しました。
私は、現在県内を中
心にピアノの演奏活動
を指導しております。
フルート奏者である母
の音楽教育は私が生ま
れた時、いや生まれる前
から胎教として音楽を叩
き込まれていたようです。
物心つく頃にはピアノの
前で遊んでいた事を覚え
ています。しかし本格的
に音楽の道で生きてい

うと思いはじめたのは、小
学4年生から鹿児島で師
事しました市来貴子先生
の指導を受け始めてから
のことです。後日先生は
牧野四郎中將のご令嬢で
あられることが分かつた
時は父が驚いておりまし
た。先生の厳しくも音楽
に対する熱意溢れる指導
のおかげで国立音楽大学に
進むことができました。

父は、要撃管制官とし
て技量を磨き、それを極
めようと努力をしたそう
です。平成2年、市来徹
夫氏(現隊友会副会長)
が司令であつた空自最強
の戦闘部隊であると言わ
れる飛行教導隊に配置さ
れ要撃管制官として極め

ようとなつた
努力したもの
のイマイチ納
得できる城
に届かなか
つたと自己
分析してい
ました。
「ピアノニ
ストとして
の道を究め
る」の域は
生涯遙かに
遠いもので
あると認識
はしていま
すが立ち止
まらぬよう
引き続き精
進する所存
です。

父とだんらんの一時

鹿屋竹下寛氏のお嬢さん竹下智子さん

東原 和志 記

事務局長

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

鹿屋(陸空)支部
柚木重敏会員のお孫さん
鹿児島玉龍高2年柚木鈴香さん

旧陸軍墓地清掃に参加の会員達

後藤光一 記

「桜島大正噴火百周年」 記念の防災訓練参加

例年、1月に開催されている総合訓練ですが、今年は「桜島大正噴火」から100周年に当たることから、昨年の11月24日に住民避難を主とした実動訓練と1月12日の総合訓練の2回に亘り開催されました。

1月12日の午前中に「防災100年式典」が盛大に開催され、県隊友会長が招待、地区協議会から私以下事務局長・各支部長など7人が一般参加者として参加しました。

式典は、主催者（県知事）挨拶・来賓挨拶、防災功労者表彰のあと、大正噴火体験記録映画の上映、記念誌発刊紹介、最後に京都大学教授の防災講演という式次第でした。講演では、「日頃の爆発活動は「ガス抜き」にはならない、「マグマの蓄積量が今後10年で大正噴火前と同じレベルに戻るとの見通しである。ただマグマ量が戻っても大噴火が起こるかは分からないが警戒基準と認識

自衛隊シリーズ 2

川内駐屯地の紹介

平素より隊友会の皆様には、駐屯地に対しまして多大なるご協力を頂きまして深謝申し上げます。川内駐屯地は、川内（当時）市民の熱烈な誘致運動により昭和60年3月東に霧島連山、北に紫尾山、そして眼下に市街地を見渡す清水ヶ丘に開設され早29年を迎えようとしています。

市民を招いての観桜会・観月会・駐屯地創立記念行事等の部内行事、川内三大行事である花火大会・川内大綱引き・川内はんや祭り等、部外行事支援においては市民と一体となり行事の成功に寄与し、まさに市民とともにある駐屯地です。特に創立記念行事においては市街地中央を走る国道3号線を戦車を含む車両約50両が行進する様子は圧巻であり、これも市民の自衛隊に対する理解の賜と感謝しています。

北薩地区にお越しの際は、是非川内駐屯地にお立ち寄り下さい。

川内駐屯地 広報班長 末永 力 記



川内駐屯地記念日に国道3号をパレードする部隊

して欲しい」と述べられました。

式典に参加した所感ですが、いわゆる「亡火」にならぬよう、東桜島小学校の石碑に「桜島大噴火は必ず繰り返される」と刻まれているとおり、

先人の警告の思いを忘れず、普段から防災意識の高揚、防災体制の確立に努める必要があると改めて認識しました。

鹿児島地区協議会としても、昨年鹿児島市長との締結した「大規模災害時の協力に関する協定」の実効性を高める努力の必要性を感じた次第です。

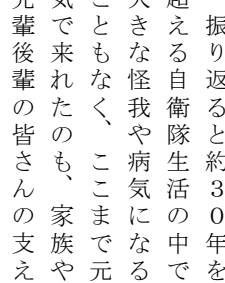


海曹長 朝名 朝浩

自衛隊勤務の感

私は現在、鹿屋市にある海上自衛隊鹿屋航空基地就職支援室で主に定年退職者の就職支援業務を実施しています。その中でも自衛隊定年退職者である4ヶ月程となり、この原稿が機関紙に掲載される頃には、一般の会社員となつていくのかもしれません。

思い起こせば、昭和55年に海上自衛隊に入隊し、岩国、那覇、鹿屋、下総そして鹿屋と転勤を繰り返す航空機整備一筋の自衛隊生活でした。そのような私が、就職支援という任務を平成21年から与えられ、自分



海曹長 朝名 朝浩

自衛隊を定年退職するに当たり、振り返ってみると「あつ」という間違ったように感じ、私がこれまで勤務してこれたのも多くの方々の支えがあったからだと感謝しております。

入隊したばかりの新隊員時代は、部隊で一つ一つの懇切丁寧に教えられる自衛隊生活の基礎を身につけることができました。また陸曹として勤務した総監部では、根拠や規則の大事さを教えられました。そして3尉候補者になつた。

私は、定年退職しますうばかりで、後輩達に何を残せたのか疑問だらけです。少しでも恩返しできるように後方支援という形でサポートできたらと思っています。

これから一般企業に再就職し勤務していきますが、自衛隊と全てが異なることではないと思います。これまでの経験や培ってきたものを活かして、頑張っていきます。そこで元気に勤務している姿を見ることが、自衛隊及び諸先輩への恩返しにつながると思います。



清掃後の充実感溢れる参加者達

自衛隊勤務を振り

自衛隊を定年退職するに当たり、振り返ってみると「あつ」という間違ったように感じ、私がこれまで勤務してこれたのも多くの方々の支えがあったからだと感謝しております。

入隊したばかりの新隊員時代は、部隊で一つ一つの懇切丁寧に教えられる自衛隊生活の基礎を身につけることができました。また陸曹として勤務した総監部では、根拠や規則の大事さを教えられました。そして3尉候補者になつた。

私は、定年退職しますうばかりで、後輩達に何を残せたのか疑問だらけです。少しでも恩返しできるように後方支援という形でサポートできたらと思っています。

これから一般企業に再就職し勤務していきますが、自衛隊と全てが異なることではないと思います。これまでの経験や培ってきたものを活かして、頑張っていきます。そこで元気に勤務している姿を見ることが、自衛隊及び諸先輩への恩返しにつながると思います。

会員紹介「小松氏」

小松会長代行は、昭和60年退官と同時に自民党に入党、二年後に松木地区公民館長として四年間勤務、その後国分市議会議員として四期十六年議会人として地方自治発展に貢献されました。

この度、自由民主党全国大会（H26.1.19）が東京で開催され、自由民主党総裁（安倍総理）から表彰状を授与されました。これも、ひとえに小松会長代行が隊友会国分支部長など全てに渡り全力を傾注された賜であり、県隊友会員として



小松 義典

《業務内容》

- ◆叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆拝謁上京時のご案内
- ◆叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp

清掃奉仕に汗

加治木支部（支部長・長谷博）は、2月9日加治木護国神社の清掃を会員11人で実施した。これは、2月11日の紀元祭に合わせた英霊への感謝をこめて毎年実施しているものである。

当日は、強烈な寒気団が押し寄せ、加治木護国神社について少し紹介しますと、場所は島津義弘公終焉の地である加治木城跡の中にあり、戊辰・西南・日清・日露及び大東亜戦争で戦死された方々の英霊が祭られている。現在、護国神社の清掃は、隣の加治木高校の生徒が担当している。

振り返ると約30年を超える自衛隊生活の中で大きな怪我や病気になることもなく、ここまで元気で来れたのも、家族や先輩後輩の皆さんの支えのおかげでした。本当にありがとうございます。

定年退職後は、私を育ててくれた自衛隊に感謝しつつ、この大隅の地で社会に貢献できるよう頑張りたいと思っています。鹿屋基地 就職支援室 海曹長 朝名 朝浩 記

加治木支部 支部長 長谷博 記

が、この護国神社も相当に寒く参加者全員最初は白い息を吐きながら、約1時間にわたり境内をくまなく綺麗にし、終了の頃には汗が湯気となるほどに頑張っていた。

ところで、加治木護国神社について少し紹介しますと、場所は島津義弘公終焉の地である加治木城跡の中にあり、戊辰・西南・日清・日露及び大東亜戦争で戦死された方々の英霊が祭られている。現在、護国神社の清掃は、隣の加治木高校の生徒が担当している。

加治木支部 支部長 長谷博 記

調査・お見積りは無料!!

鹿児島県鹿児島市下竜尾町25番22号
☎0120-202-208



叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp

2013 かがし新特産品コンクール 奨励賞受賞

SIRASU シラスソーブシリーズ

吉田シラス (火山灰白土) 洗顔石鹸

株式会社日本衛生センター
http://www.nippon-ec.com/